

25年9月24日~25日

チーフアドバイザー

相山 英紀

アドバイザー

井上 良一

グループの旗

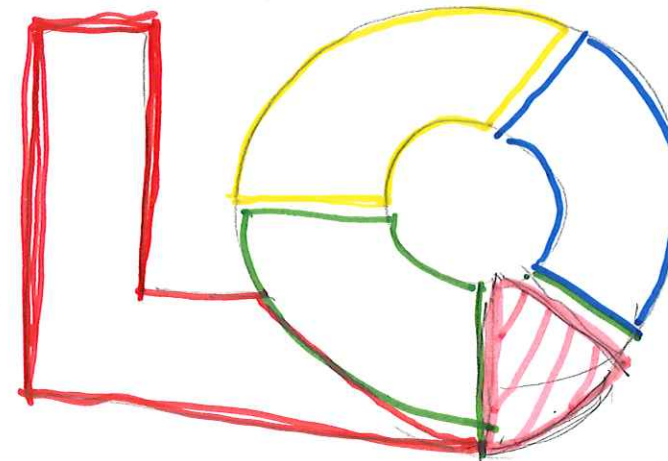
支援者コース:

グループNo:

グループのネーミング

フリーダム・ゴレンジャー

シンボルマーク



メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	苗村 淳二	豊田自動織機
2	時間係	篠原 誠	トヨタエンタプライズ
3	書記1	川合 明仁	アイシン高丘
4	書記2	高橋 賢	アイシン福井
5	発表者	明正 祐司	愛三工業
6	質問者	篠原 誠	トヨタエンタプライズ
7	5S責任者	全 員	
8			

グループの決め事

	グループの決め事	評価
①	否定しない	◎
②	1人1 発言 発言	◎
③	本音で語る	◎
④	明るく進める	◎
⑤	何でもあり	○

(※評価は、○、△、×等で記入する)

支援者としてのあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える支援者のあるべき姿の抽出								あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	苗村	川合	篠原	明正	高橋				根拠	選んだもの
①	○	○						上位者に対する 合致性	上位者を定期的に反映する	
②	○	○	○○○	○	○			チーム活動 進捗確認	(全チームの) 困り事を解消する	計画(計画)通りに 成功体験を得たこと
③	○	○			○			チーム活動を アピールする場	チーム活動をアピールする場を 提供する	
④	○	○		○○				集合する 時間・場所 確保 研修に 参加させる	現場を止めてでも チーム活動を認める	人材育成に つなげる為
⑤	○		○							
⑥		○○	○○	○○○				頼られる 支援者	推進者やチームメンバーに 定期的に声をかける	頼られる支援者 となる為
⑦										
⑧										
⑨										
⑩										

活動支援マトリックス表

発表資料3
グループ名: フリーダム (19)
ゴレンジャー

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 推進者とサークルメンバーに 定期的に声掛けをする	2 現場を止めてでもサークル活動を 認める	3 (全サークルの) 困り事を解消する
現状の姿	- 仕上げた事例に対する指摘のみ - 途中経過を確認していない - QCサークルノートにコメントを残す だけになっている - 推進者との会話の中にQCサークルの 話題が少ない - QCサークルの取組みも知らない - サークルメンバーの声かけができていない	「QC活動より本業務を」という思いがある - サークル活動日時を把握していない - やり方を変更しサークルリーダー(デスリーダー) 中心の方法へ指示する - 他部署に対して自部署がサークル活動をする 時限)だとアウンスでまていない	- 困り事を放置している - 困り事をひそかに作っている (情報を取りに行っていない) - 道具を片付ける事は動カガ 仕事のしくみへは入っていない
問題点 (課題) 2つに絞り込む	活動成果の確認のためプロセスには 関与しない ① 無関心 ② プロセスを確認・評価 していない	① 稼働時間中のQCサークル活動と 認められていない (優先順位 低い) ② 問題なく出来ていると 思い込んでいる	① 困り事の共有 ② 困り事に対し 受け身の姿勢
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ご とに1つを洗い出す	各スラップ毎に ① 声掛け(関心) する ② プロセスを確認 する	① 全社内での理解活動を進める ② 各スラップで 活動状況を確認する	① 困り事のリストに ② 推進者と集まって議論する 場を確保(仕組みにする)

グループ討論振りかえり表

発表資料4

グループ名:

フリーダム (19)
ブレンジャー

◆グループ討論を振りかえり

- ・ 活発に議論ができて良かった
- ・ 皆が困っていることがわかった
- ・ 各社の意見が聞けて良かった。
- ・ 持ち返る＝しがでる＝しは持ち直し、活用は、
- ・ 改めてQCサークル活動を放置していることがわかった。
- ・ 各社の取組めの話が聞けて、持ち返るものがあった

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名(株)豊田自動織機	氏名 菊村 淳二
各ステップ毎で対応の仕方を確認し、活発な活動の環境を整える	
会社名(株)アイシン福井	氏名 高橋 賢
ステップ毎にしっかりと聞き、正しく評価、しっかり支援	
会社名 アイシン高丘(株)	氏名 川合 明仁
各ステップで声掛けをして、困り事を解決していく。	
会社名 愛三工業	氏名 明正 裕司
自ら進んで声掛けをし困り事を解決していく	
会社名(株)トヨタエンタプライズ	氏名 篠原 誠
各ステップで各サークル状況を確認し支援します	
会社名	氏名

7年9月24日~25日

チーフアドバイザー

相山

アドバイザー

渡浅野

グループの旗

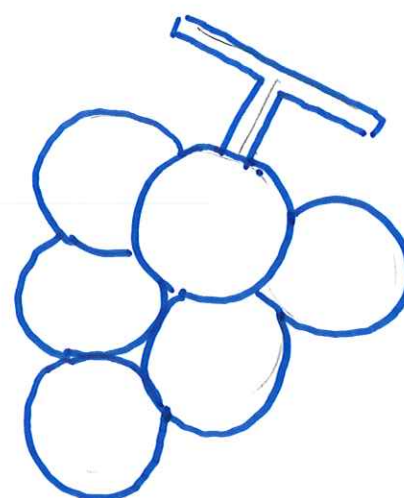
支援者コース:

グループNo : 2

グループのネーミング

フルーツグループ

シンボルマーク



メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	上田	愛三工業
2	時間係	三田村	アイシン福井
3	書記1	岩瀬	アイシン高立
4	書記2	南川	デンソー
5	発表者	三田村	アイシン福井
6	質問者	黒木	大豊工業
7	5S責任者	黒木	大豊工業
8			

グループの決め事

	グループの決め事	評価
①	一人一言	○
②	ほめ合う	○
③	常に笑顔	△
④	フォローし合う	○
⑤	7人チームで決める	○

(※評価は、○、△、×等で記入する)

支援者としてのあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える支援者のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	南川	岩瀬	三田村	黒木	上田					根拠	選んだもの
①	1			1	1				方針と活動を結びつけ進め方を明確にする	活動の目的と方向性を明確にさせる必要がある為、	○
②	1		1	1	1				QCCサークル活動の必要性を理解し伝える		
③	1	2	1						社内外の情報を共有する		
④	1		1	1	1				各チームの定期的なフォローアップができている		
⑤	1	2	2	1	2				活動に必要なリソース確保 する(時間、場所、金、道具等)	支援者しか出来ない 調整 (活動出来ない)	◎
⑥	1		1						活動の成果と発表する場をつくり、書き出す(ほめる)		
⑦	1		1	2					サークルレベル向上活動化に向けた色々な仕掛け	モチベーションの維持の為	○
⑧	2	1	1	2	1				サークルの困り事を助言する		
⑨			1						部署をまたいだ活動の精査渡し、バックアップ		
⑩											

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動支援マトリックス表

発表資料3

グループ名: 2G

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 活動に必要なリソースを確保 (時間、場所、金、道具等)	2 方針と活動を結び付け進め方を明確にする	3 サークルレベル向上活性化に向けた色々な仕掛け
現状の姿	- 活動はリーダー任せになっている - 実行色しても延期してもフォローしていない - QCに時間の使い方がいまいち - いつやるの? プレッシャー与えるのみ 10件	- 方針共有していないサークル員は方針を知らない - QCと方針は別々の考え - 業務育成は計画するがQCはあきらめている 8件	- 会合に参加していない、報告書にコメントのみでフォローしていない - 毎月回事務局、工場長、支援者が集りQCサークル活動の進捗度共有や困り事の共有を行い更なる活性化に向けた議論を実施 8件
問題点 (課題) 2つに絞り込む	- 支援者が計画と実態が分かっていない為、必要なリソースが与えられていない - 推進者、サークルリーダーがQCサークルは全員参加が必須と思い活動している	- QCと方針を結びつける意識がない - テーマ進め方はサークル任せになっている	- 事務局が任せ(教育等活性化に向けた仕掛け) - 実活動に足をはこんでいない
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	- 推進者と連携して困り事を吸上げる仕組み作り - 会議内容が共有できれば全員参加となる仕組みを作る	- 方針にQC活動の方針を折込む - テーマ選定の際にどの方針と結びつか分ける帳票にする	- 支援者が現状レベルを把握し目標設定を立ててもらい、よい活動する仕組みづくり - 支援者もQC活動の時間をつくる

グループ討論振り返り表

◆グループ討論を振り返り

上田さん

- ・リーダーとして取りまとめがうまくできていなかったが、みなさんのフォローしていただいた。
- ・立場によって考え方、見方が違うことがわかった。

黒木さん

- ・各社の実績が知り、実績に皆さんが同じ問題を抱えており共有することで進めた。

三田村さん

- ・QC活動についてこれだけの長い時間をつかい振り返り議論することがなかった。
ので、すごく良い機会になった。
- ・他の会社の同じ様な立場の方と悩みや意見、考え方の共有でき参考になった。

南川さん

- ・それぞれの企業のやり方の中根本的な所は同じような問題をかかえている事がわかり、考え方について参考となる事も多々あり、有意義でした。
- ・支援者の考え方、動きからQCサークル全体の運用に大きく左右される事が今回の石川習を通じてより理解できた。
- ・今後支援者である自身の立場の理解と推進者と連絡連携を意識し取り組む。

岩瀬

- ・方針に対する活動ができているかフォローを行います。
- ・活動フォローは黒子になって行動する。
- ・サークルに必要なリソースを与えるために声を吸上げる。

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名	常三工業	氏名	上田 真由
QCサークルの自覚と向き合い、支援者としてQC活動の円滑化を図る。			
会社名	大豊工業	氏名	黒木 友希
支援者自らQC活動しやすい環境整備を進める。			
会社名	アイシン高丘	氏名	岩瀬 宏
方針にそったQC活動を行えるように情報共有とフォローする。			
会社名	デンソー	氏名	南川 裕城
支援者として推進者として、カリキュラム活動しやすい仕組みを作る。			
会社名	アイシン福井	氏名	三田村 和彦
現場に足を運び推進者のフィードバックで各サークルの活動支援する。			
会社名		氏名	

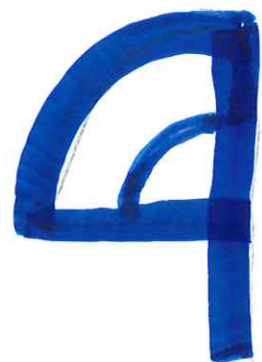
グループの旗

支援者コース:

グループNo : 3 G.

グループのネーミング
ジュスター 9

シンボルマーク



発表資料1

グループ名: ジュスター 9.

2025 年 9 月 24 日 ~ 25 日

チーフアドバイザー
永江 孝 雄.
アドバイザー
田口 政博

メンバーと役割分担			
No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	中島 篤	(株) 葵商店
2	時間係	伊東 良浩	(株) アイシン 福井
3	書記1	森本 鉄也	愛ニエ業(株)
4	書記2	丹羽 俊雄.	大豊精機 (株)
5	発表者	高橋 利忠	(株) トヨタカスタマイジング&デベロップメント
6	質問者	後藤 啓悟.	(株) アイシン 福井
7	5S責任者		
8			

グループの決め事		評価
①	みんな意見を毎回出る.	○
②	笑顔で話す. 聞く.	○
③	ことある事に 拍手する	○
④	他人事と思わない.	○
⑤	あいこつをする	○

(※評価は、○、△、×等で記入する)

支援者としてのあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える支援者のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	森下	伊東	後藤	中島	高橋	丹羽				根拠	選んだもの
①	6		6	3	3			18	進め方の助言をして指導する		
②	2	1		1	2			6	人・場所・時間を確保する		
③	2	3	1	1		1		8	メンバー推進者が相談しやすい雰囲気を出す		
④	2	1	3	1		3		10	熱い気持ちをもつ	やる気のある上司に部下はついて来れるから	◎
⑤	1			1	1	1		4	方針・目標を明確にする	向かう方向がブレる ゴールがブレるから	○
⑥		2	1	2	3	1		9	評価に賞賛する	メンバーのやる気が上がるから	○
⑦	1	2		1	1	1		6	情報を収集してメンバーに展開する		
⑧		1				1		2	後継者を育成する		
⑨	1				1			2	予算を確保する		
⑩		1	1					2	成功事例を残し生かす		

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動支援マトリックス表

発表資料3

グループ名: ジュスチャー 9 (3G)

重要 行動ポイント 活動ステップ	1	2	3
	熱い気持ちをもつ	方針、目標を明確にする	評価を賞賛する
現状の姿	- 熱く話しているだけで腹落ちできていない - QCをやる目的を、自分の言葉で説明する - 時間を作っていない(メンバー任せ) - マンネリしている - アピールが足りていない - 育成が思うようにできていない	- 高い目標をかかげて失速する - トップから下りてきた目標が個人まで伝っていない - 私たちのQCサークル支援計画書にて、目標の明確化をしている - しっかりと説明が無いので理解できていない	- 自分の業務がやれている良い - 計画的な物を提出していない 1回/月程度しか活動が見えていない 「支援計画書」を基に評価
問題点 (課題) 2つに絞り込む	① メンバーをその気にさせる技が足りない ② 優先順位が低い ③ 自分自身の熱量が足りない ④ 伝えるための時間を取っていない ⑤ 世代に合った話し方ができていない	① サクルレベルに合った目標設定になっていない ② 目標の妥当性を計画していない ③ 目的を示せていない	① 計画の基準が明確になっていない ② プロセスが見えていないから評価できていない ③ レベルに合った評価ができていない
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	① 他QCサークル事例発表会の見学や研修会参加で「響く言葉」を学ぶ ③ 参加を約束した時は必ず顔を出してやる気を見せる	① 定期的な報告会の中で、目標の見直し実施する ② サクルの実力を理解した上位からの目標を照らし合わせ全員でサークル目標を設定する	① 評価項目、仕組みを整えて合意する ② 定期的な活動を見る場を作り悩みを周知アドバイスする

グループ討論振りかえり表

発表資料4

グループ名: ジェスチャー 9.
(367)

◆グループ討論を振りかえり

今回、初めて研修に参加することになり
推進者と支援者との違いを学び
大変良い研修でした。

良い気づきとして、

支援者の熱い思いや サークル活動への
賞賛を忘れない 自認に気づき帰る?

活動に役立てたい。

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 (株) 葵商店 氏名 中島 篤

みんな活動を傾聴し、熱い気持ちでサポートする

会社名 (株) アイン福岡 氏名 伊東 良浩

いつも Smile Thankyou Eyecontact Please を忘れずに熱く!

会社名 大豊精機(株) 氏名 丹羽 俊雅

前向きな発言を促して熱い気持ちも伝える!

会社名 トヨタ販売(株) 氏名 高橋 利史

学んだ事を時間をとってしっかりメンバーに伝える

会社名 愛三工業(株) 氏名 森本 鉄也

各サークル会合に顔を出しやる気を見せながらアドバイスしていく。

会社名 (株) アイン福岡 氏名 濱藤 啓悟

目的・目標を明確に示し、やる気、本気を見せる!

発表資料1

グループ名:

2025年9月24日~25日

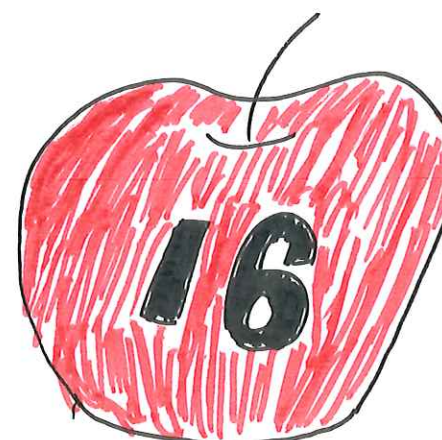
チーフアドバイザー

永江 孝雄

アドバイザー

村上佳一

シンボルマーク



グループの旗

支援者コース:

グループNo: 4G

グループのネーミング

ジェスチャー16

メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	原 真吉	愛三工業株式会社
2	時間係	岡永 健作	(株)アイシン福井
3	書記1	大木 啓暢	福井ファルテック株式会社
4	書記2	藤本 拓也	上田石灰製造株式会社
5	発表者	栢植 正之	大豊精機
6	質問者	北山 陽一	アイシン高丘株式会社
7	5S責任者		
8			

グループの決め事

		評価
①	明るく楽しく!!	△
②	全員発言!!	○
③	発言を批判しない!!	○
④		
⑤		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

支援者としてのあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える支援者のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	岡永	原	大木	藤本	柘植	北山				根拠	選んだもの
①	○	○○	○			○		環境	活動の時間を確保する		○
②											
③	○○	○		○	○			方針	方針を伝えて新入生に伝える		
④		○	○		○			自主性	メンバーの自主性を発揮させる		
⑤		○									
⑥	○○	○○○○	○	○		○		コミュニケーション	活動の進捗を確認する		◎
⑦											
⑧	○	○	○		○			知識	研修会に参加する、させる	自分に足りない能力	
⑨	○○		○		○	○○		教育	教育の場を設ける	これから実施したい行動目標	
⑩	○○	○○	○	○	○○	○○		サポート	推進者の困り事を良く聴き、助言する	能力UPした..	◎

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動支援マトリックス表

発表資料3

グループ名: ジェス4p-16
(44)

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 活動の時間を確保する	2 活動の進捗を確認する	3 推進者の困り事を良く 聴き助言する
現状の姿	① いつ会合をするのか知らない ② 会合の日時を相談していない ③ 月1回会合をやる ④ 業務優先で集まらない ⑤ 4-4にお任せで明確な基準がない	① 会合の記録シートを確認していない ② 推進者の記録シートを提出する指示がない ③ Qに活動より他の仕事を優先 ④ 月1回活動報告者提出 ⑤ 進捗確認するだけになっている ⑥ Qに活動の状況確認頻度が少ない ⑦ いつまでにかつて忘れがた ⑧ 進め方が忙しさに追いつかない	① 活動について会話をしていない ② 会議をする計画を立てていない ③ 忙しい時に話を聞けない ④ 活動報告書にコメント ⑤ 支援者のスキル不足 ⑥ アドバイス出来ていない ⑦ 推進者に任している ⑧ 解決策が見つかからない ⑨ メンバーに対してのアクションがわからない
問題点 (課題) 2つに絞り込む	① Qに活動が業務と分けて考えられている ② 支援者がQに活動の優先順位を下げている ③ 会合する時間を決めていない ④ 方針を伝えきれていない ⑤ Qの本来の目的を伝えきれていない	① そもそも確認していない ② 確認しているだけで推進者と話し合っていない ③ 業務優先にしている ④ Qの優先順位が低い ⑤ 進捗確認のツールがない ⑥ 途中確認を後まわしにしている	① 支援者のスキル不足 ② Qの優先順位が低い ③ 推進者のアドバイスがわからない ④ 業務優先 ⑤ 推進者のスキル不足(活動の支援)
やるべき事 (方策) 絞り込んだ2つの問題点ごとに1つを洗い出す	③ 上位者に掛け合いの時間を作る ⑤ Qの本来の意義・成果を発信する	② 推進者を集め会合を開く ⑤ 確認ツール(仕組み)を作る	① 研修会に積極的に参加する ⑤ 推進者のスキルUPの為、研修会へ行かせる

グループ討論振り返り表

発表資料4

グループ名: (4G)

◆グループ討論を振り返り

サークル活動が活性化しない事に課題認識があったが、「任せる」と言う丸投げ状態だった。今後は、この所轄で得た知識を振り返り、推進者をサポートする。

所轄中は、全員の意見が活発に出ていたが、悩みが深く、シンとなる事もある。ある程度、時間内に完結する。良かった。

岡本 健作

自分が担当しているサークルに対して、無関心だった事がわかった

高木 真吉

支援者としてQ&A活動の重要性として理解できていなかった。

今回の教育を通し沢山の意見が得られたので今後に生かしたい

北山

グループ内では、圧倒的に自身の知識・経験不足を露呈した。

弊社はスタート直後であり、今では事を一歩一歩進めていく他ないが、

経験ある方のお話を聞く事ができ、非常に有意義な時間となった

大木

他社の方のQ&A活動に対する想い、現状を聞く事が出来、大変勉強になった

藤本

◆今後の行動指針(決意表明)

会社名 (株)アイシン福井 氏名 岡本 健作

サークル推進者と会話の機会を設け、困り事やテーマの進捗確認を行う。

会社名 豊工業(株) 氏名 高木 真吉

推進者へサークルの困り事と業務の困り事を多く、できれば2回/週、

会社名 アイシン高丘 氏名 北山 陽一

Q&A活動の目的として理解し、推進者と活動を進める

会社名 上田石灰製造(株) 氏名 藤本 拓也

Q&A活動本来の意義を理解し推進者に伝え自己のスキルアップを目指す

会社名 福井ファイバーク(特) 氏名 大木 啓暢

自身のスキルアップを図り、積極的に助言・指導を行う

会社名 大豊精機 氏名 拓也 正之

良い事例、良いポイントを学び、わかりやすい支援ができる仕組み作り